

## 研修会報告

平成 30 年 2 月 5 日

文責：播磨 晋太郎

研修会名：臨床検査総合部門研修会

テーマ：「認定取得ガイダンス～スキルとキャリアアップを目指して～」

開催日時：平成 30 年 1 月 27 日（土曜日）14：00 ～16：30

会場：大崎市民病院本院 3 階会議室

<プログラム>

### 【認定ガイダンス】

認定輸血検査技師	大崎市民病院 検査部	加藤 志真	技師
認定一般検査技師	国立病院機構 仙台医療センター	大橋 怜央	技師
細胞検査士	宮城県立がんセンター 検査部	内城 孝之	技師
認定血液検査技師	石巻赤十字病院 検査部	小野寺 駿介	技師
認定超音波検査技師	大崎市民病院 検査部	大場 好恵	技師

### 【総合討論】

司会：大崎市民病院 検査部 氏家 和明 総合管理部門長

生涯教育点数：基礎 20 点

参加者 会員 41 名、実務委員 7 名、計 48 名

### 【内容】

研修会は「認定取得ガイダンス～スキルとキャリアアップを目指して～」をテーマとし、部門の垣根を越えて、各分野の認定技師から情報を得られる新しい試みであり、多くの有益な情報を得ることが出来ました。認定ガイダンスでは、各講師から認定試験の受験資格、出題範囲などの概要と実際に行った試験対策、試験当日の様子との報告がありました。特に、試験対策については、試験までのスケジュールや使用した参考図書の紹介もあり認定を目指している方々にとっては貴重な情報であったと思います。また、講師も最近、認定を取得した方々を選定されていた事もあり、興味深く話を聞くことが出来ました。

総合討論では、「認定を目指したきっかけと取得してよかった事は」、「宮城県臨床検査技師会に対する要望は」といった内容などについての討論が行われました。ガイダンスの中で、他県の認定試験対策の研修会やホームページの認定試験対策を活用したという話もあり、宮城県臨床検査技師会においても積極的に取り組みを行って欲しいという意見がありました。一方で、今年度から病理・細胞診検査部門で行われた細胞検査士の試験対策の参加者の満足度が高かったという報告もあり、認定試験に対するニーズが高まっている印象を持ちました。今後も、本研修会のように複数の部門が連携した研修会の開催を期待したい。